

主な議案 9月 定例会

今回は、平成22年度決算の認定と刈谷市障害者支援センター条例の制定についてなどです。質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を要約して掲載します。

平成22年度決算を認定 一般会計・特別会計で85億円の歳入減

20日の決算審査特別委員会で、分科会での審査結果を踏まえ、採決を行いました。

決算審査特別委員会審査のあらまし
本会議での説明後、議員選出の監査委員（山内智彦議員）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。

さらに、企画総務、福祉経済、建設水道、文教の4分科会を設置しました。
分科会では、監査委員に出席を求め、審査が行われました。



代表監査委員による意見陳述

討論では、新庁舎建設に無駄があることや、福祉などへの支出を今以上に増やすべきであること、また亀城公園等整備基金は今必要ではなく、防災対策に予算を計上するべきであることなどから反対であるとの意見が

ありました。
一般会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計については、起立採決の結果、賛成多数により、原案のとおり認定することに決定しました。
そのほかの決算議案については反対意見はなく、原案のとおり認定しました。

■ 企画総務関係

総合評価落札方式による入札のメリット・デメリット、職員健康管理の状況、防災情報システム整備事業の概要

■ 福祉経済関係

保育園の福祉サービス第三者評価の現状と今後の見通し、市民菜園の利用実態と整備予定、雇用安定対策事業の状況、生活保護者への自立支援、福祉有償運送運営協議会の各種審議会の運営実績、脳ドック多回救急落選者への対応、生きがい楽農センター受講修了者と市の農業行政との結びつき

■ 建設水道関係

刈谷駅南北連絡道路の利用状況、亀城公園の桜の植え替えと育成環境の実態

■ 文教関係

市民館エレベーターの設置状況、北部生涯学習センターの指定管理の実態、今後のアレルギード対応給食の拡充、給食費の未納状況とその対策

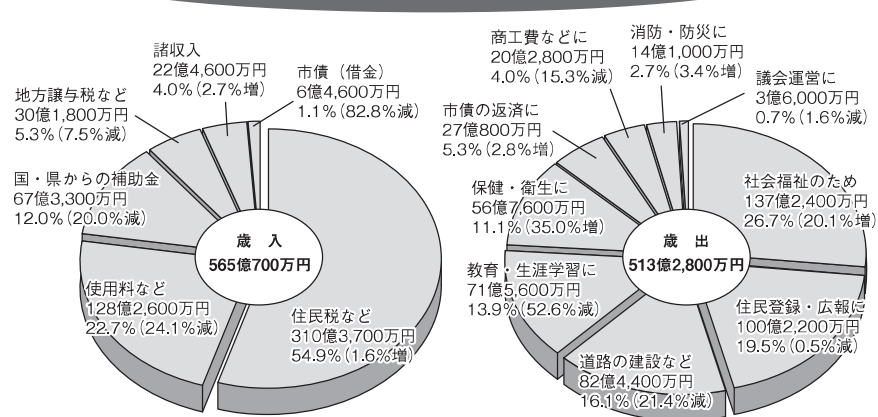
各会計別の決算額

会計名	歳入 (前決算年度対比)	歳出 (前決算年度対比)	形式収支 (歳入歳出差引額)
一般会計	565億700万円 (▲13.1%)	513億2,800万円 (▲11.6%)	51億7,900万円
特別会計 合計額	224億5,400万円 (+0.3%)	207億5,500万円 (+0.5%)	16億9,900万円
水道事業 会計	25億7,800万円 (+1.5%)	25億700万円 (▲0.5%)	7,100万円
各会計の 合計額	815億3,900万円 (▲9.4%)	745億9,000万円 (▲8.2%)	

特別会計内訳	歳入	歳出
区画整理事業合計	7億6,200万円	4億1,300万円
下水道事業	46億6,300万円	41億7,200万円
国民健康保険	107億1,100万円	99億800万円
老人保健	500万円	500万円
後期高齢者医療	10億6,800万円	10億6,600万円
介護保険	52億4,500万円	51億9,000万円

一般会計の内訳

(前決算年度対比)



(地方譲与税その他の内訳)
・利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金
・地方消費税交付金・自動車取得税交付金
・地方特例交付金・地方交付税・交通安全対策特別交付金

(使用料その他の内訳)
・手数料・分担金及び負担金・財産収入・寄附金・繰入金
・繰越金

(商工費その他の内訳)
・農林水産業費・労働費・災害復旧費・諸支出金

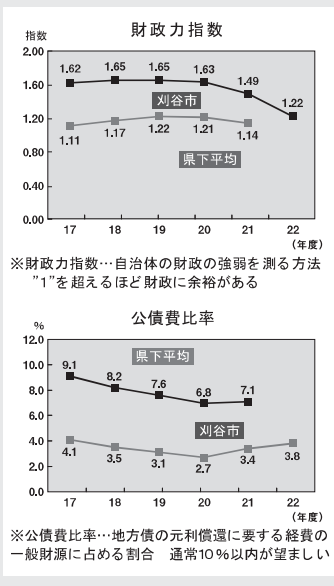
(注) それぞれの数字は四捨五入してそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

監査委員の意見 (要旨)

Ⅱ 一般会計・特別会計

本年度の決算状況は財政指標面からも良好なものと判断された。しかし、今後の財政状況は、東日本大震災の影響を受け、経済雇用などの状況改善が進まなため市税収入の見通しが不透明なこと、施設維持管理費の増加、少子高齢化、格差、環境といった社会的課題への対応、さらには東海・東南海・南海地震に対する防災強化への対応などから、歳入歳出の両面において厳しい局面を迎えることが予想される。

平成22年度に市制施行60周年を迎えた刈谷市が今後も健全財政を維持し、市民生活の向上を目指し、より効率的で効果的な行政運営に取り組み、市民が住んでよかった、住み続けたいと思うまちづくりを推進するよう期待するものである。



Ⅲ 水道会計

本年度の純利益は5,053万5千円となり、また、これまでの企業の営業活動によって獲得した利益の蓄積を示す利益剰余金は10億6,187万6千円となっており、効率的な給水に努めた企業努力によりところが大きいと判断できる。

また、貸借対照表から主要な経営指標をみると、財務状態の安全性を示す自己資本構成比率は10ポイント上昇しており、他機関からの資本依存度を示す固定負債構成比率は、企業債残高が減少したことなどにより前年と同率であり、この二つの指標は、依然として経営の安全性が高いことを示している。

東日本大震災を教訓として、今後発生が危惧される東海・東南海・南海地震の3連動型の巨大地震に対応し、ライフラインを確保するための耐震性に優れたダクタイル鑄鉄管への布設事業を計画的に進め、引き続き「安心」で「良質」な水道水の安定供給に取り組み、市民に信頼される公営企業として、安定した健全な経営を推進するよう期待する。

鈴木 嘉徳
伊藤 男徳
木村 綱

平成22年度に取り組んだ主な事業

やすらぎ……

安心と安全の確保されたまちづくり

- ・災害対策本部となる会議室に各種情報を表示するマルチディスプレイシステムを整備 3,668万円
- ・一般不妊治療費の助成額の上限を10万円に引き上げ、通算2年間の助成期間の制限を撤廃 776万円
- ・かりがね、朝日、日高小学校敷地内に児童クラブを建設、整備 1億3,195万円
- ・中学校修了までの児童・生徒に子ども手当を支給 29億2,096万円

いきがい……

活気と希望のあるまちづくり

- ・老化化する橋りょうの増大に備え、橋りょうの修繕による長寿命化を図る計画を策定 1,502万円
- ・従来の保健センターの機能に加え健康増進、子育て支援、早期療育機能を併せ持った、刈谷市総合健康センターを整備 10億8,810万円
- ・高度医療を駆使した外科手術に対応する施設整備を行う刈谷豊田総合病院へ補助 5億1,500万円
- ・刈谷市総合運動公園と亀城公園を結ぶ逢妻川の河川敷地等にサイクリングロードを設計・整備 504万円
- ・小学校全校に少人数授業に対応するための非常勤講師を30名雇用 6,042万円
- ・事業活動の縮小を余儀なくされた市内中小企業が雇用する労働者へ、一時的な休業措置や教育訓練を実施した際に係る費用の一部を補助 2,624万円
- ・将来の教室不足に備え日高小学校校舎を増築 1億7,466万円

うるおい……

快適で魅力のあるまちづくり

- ・亀城公園を城址公園的な桜の名所に再整備するため、公園再整備工事、発掘調査委託を実施 3,289万円
- ・民有地の緑化及び並木道の再生により、市内の緑化率の向上を図る 2,279万円
- ・刈谷駅北口駅前広場を整備、刈谷市の玄関口にふさわしい駅前空間を整備 1億4,495万円
- ・刈谷駅北口、一ツ木駅南口に駐輪場を整備 1億1,593万円
- ・青山斎園で1日2組の葬儀を可能とするため、せい山閣を改修 303万円
- ・事業系排出ごみ実態調査アンケート、事業所ヒアリング等を実施し、廃棄物の減量施策を展開 467万円

いろどり……

歴史と文化を大切にしたいまちづくり

- ・歴史博物館を建設するために基本計画を策定し、パブリックコメントを実施、公表 483万円
- ・刈谷偉人伝として「初代刈谷藩主水野勝成物語」を紹介したDVDを作成 599万円
- ・文化財保護のため、郷土資料館を耐震改修するとともに、展示内容をリニューアル 8,407万円
- ・総合文化センター開館記念として、民間団体と協働で市民音楽劇「万燈の輝く夜に」を上演 1,492万円
- ・チェコアニメーションの創設者カレル・ゼマンの日本初の本格的な展覧会を開催 1,451万円
- ・戦後日本を代表するグラフィックデザイナーである宇野亜喜良の展覧会を開催 1,940万円

しんらい……

政策を支える改革

- ・第7次刈谷市総合計画の策定や、自治基本条例の制定、行政評価制度の構築 870万円
- ・旧市役所南庁舎を改修し、社会教育センター・市民ボランティア活動センター・国際プラザの整備に向けた設計を作成 5,683万円
- ・市民の利便性、防災性の向上を図り、市民に親しまれる新庁舎を建設 52億8,268万円



一ツ木駅南口に駐輪場を整備

水道事業のあらまし

項目	22年度	対前年度比較	
		増減数	増減率
総人口	145,535人	290人	0.2%
給水人口	145,299人	345人	0.2%
普及率	99.8%	0.0%	-
給水戸数	59,225戸	432戸	0.7%
配水量	18,794,231㎥	211,598㎥	1.1%
市水配水量	4,929,795㎥	29,809㎥	0.6%
県水配水量	13,864,436㎥	181,789㎥	1.3%
県水依存率	73.8%	0.2%	-
有収水量率	94.7%	0.5%	-
1人当たり平均給水量	335ℓ	4ℓ	1.2%
1㎥当たり給水収益	133.14円	0.27円	0.2%
1㎥当たり給水費用	134.46円	▲3.63円	▲2.6%



改修中の市役所旧南庁舎

議決結果一覧表

・損害賠償の額を定める専決処分について	了承
・平成22年度刈谷市一般会計継続費の精算について	了承
・固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
・人権擁護委員の候補者の推薦について	異議ない旨答申
・教育委員会委員の選任について	同意
【企画総務委員会関係・4議案】	すべて可決
・刈谷市庁舎建設基金条例の廃止について	すべて可決
・刈谷市税条例等の一部改正について	すべて可決
・刈谷市都市計画税条例の一部改正について	すべて可決
・刈谷市消防団条例等の一部改正について	すべて可決
【福祉経済委員会関係・2議案】	すべて可決
・刈谷市南部福祉センター条例等の一部改正について	可決
・刈谷市障害者支援センター条例の制定について	可決
【建設水道委員会関係・1議案】	可決
・指定管理者の指定について（フロアラルガーデンよさみ）	すべて可決
【文教委員会関係・3議案】	すべて可決
・指定管理者の指定について（ウイングアリーナ刈谷、ウェーブスタジアム刈谷及びグリーングラウンド刈谷）	すべて可決
・刈谷市スポーツ振興審議会に関する条例の一部改正について	すべて可決
・刈谷市体育施設条例の一部改正について	すべて可決
【平成22年度決算関係・10議案】	すべて可決
・一般会計歳入歳出決算認定について	すべて可決
・刈谷半城土高須土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	すべて可決
・刈谷小垣田東部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	すべて可決
・刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	すべて可決
・下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	すべて可決
・国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	すべて可決
・老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	すべて可決
・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	すべて可決
・介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	すべて可決
・水道事業会計決算認定について	すべて可決
【平成23年度補正予算関係・5議案】	すべて可決
・一般会計補正予算（第3号）	すべて可決
・刈谷半城土高須土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	すべて可決
・下水道事業特別会計補正予算（第1号）	すべて可決
・後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	すべて可決
・介護保険特別会計補正予算（第1号）	すべて可決
【請願・2件】	不採択
・低家賃の市営住宅の建設を求める請願	不採択
・刈谷市公共施設連絡バスの充実を求める請願	不採択
【議長発議 1件】	可決
・議員の派遣について	可決
【議員提出議案 1件】	可決
・定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書	可決